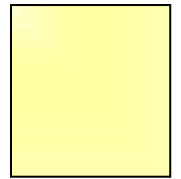
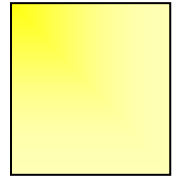
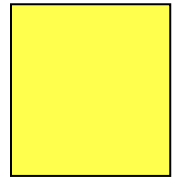
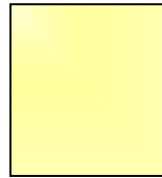


(様式：13-01)

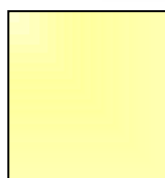
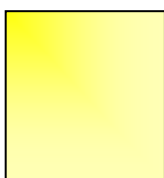
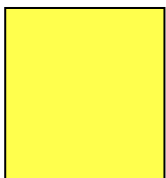
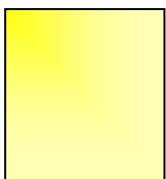
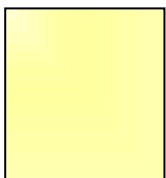


紺藤織物 株式会社

2018 年度 環境活動レポート

【 2017 年 9 月～2018 年 8 月号】

作成日 ： 2018 年 11 月 30 日



目 次

1. ご挨拶	P 2
2. 環境方針	P 3
3. 事業者活動の概要	P 4
4. 認証・登録の対象組織・活動	P 4
5. 3年間の事業の規模と負荷の取りまとめ	P 5
6. 環境目標とその実績	P 6
7. 2018年度 環境活動の具体的な取り組みと評価	P 7
8. 第5期中期環境経営目標計画	P 13
9. 2019年度 環境経営活動の取り組み計画	P 15
10. 環境関連法規制の順守状況	P 16
11. 2018年度代表者による見直し	P 16

ご 挨 拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っています。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



環 境 方 針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のためロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理の推進
 - (7) 事務用品及び消耗品のグリーン購入を進めます。
 - (8) 納品時に使用する梱包資材をリユース出来るものに切り替えを促進します。
 - (9) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境方針を周知します。

最新改定日：2010 年 8 月 27 日

制 定 日：2006 年 8 月 19 日

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山 川 藤 治

I. 事業者活動の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山川 藤治
- (2) 所在地
滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地
- (3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先
責任者 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
- (4) 事業内容
産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売
- (5) 事業の規模
主要製品生産量 3,327ton／年 (2018 年度実績)
従業員 89 名 (2018 年 8 月末日)
工場延べ床面積 13,709 m²
- (6) 事業年度 9 月 1 日～8 月 31 日

II. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）
活 動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売



Ⅲ. 3年間の事業の規模と負荷の取りまとめ

事業規模

活動規模	単位	2016 年	2017 年	2018 年
生産重量	t	3,166	3,208	3,327
売上高	百万円	1,162	1,164	1,227
従業員	人	83	86	89
床面積	m ²	13,709	13,709	13,709

環境への負荷の状況

		単位	2016 年	2017 年	2018 年	特定した 環境負荷
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	2,526,806	24,976,703	27,225,512	○
	購入電力	kwh	2,570,377	2,540,865	2,769,635	○
	化石燃料	MJ	937,304	1,084,444	1,243,130	
② 総物質投入量	資源投入量	t	3,386.6	3,465.9	3,509.8	
	循環資源投入量	t	3.5	2.4	1.8	
③ 水資源投入量	上水	m ³	516	647	734	○
	地下水	m ³	794,600	783,000	829,400	
④ 温室効果ガス排出量	【二酸化炭素】	Kg-CO ₂	1,284,515	1,280,730	1,400,433	
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t	0.24	0.26	0.20	
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t	3,166	3,208	3,327	
	容器包装使用量	t	8.8	4.7	12.46	
⑦ 廃棄物等総排出量	再生利用	t	234.7	110.7	237.9	
	単純焼却	t	7.7	10.8	10.0	○
⑧ 総排水量	公共用水域	m ³	794,358	783,152	829,394	
	下水道	m ³	758	714	740	

Ⅳ．環境目標とその実績

今期（2018 年度（‘17/9～’ 18/8））は第 4 中期環境目標計画の最終期となります。第 4 中期環境目標の基準年度は 2014 年度（‘13/9～’ 14/8）としています。

項目	年度	2014年度(基準年度)	2016年度	2017年度	2018年度	
		(‘13/9～’ 14/8)	(‘15/9～’ 16/8)	(‘16/9～’ 17/8)	(‘17/9～’ 18/8)	
		実績	実績	実績	目標	実績
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		142.84	149.60	162.50	140.70	186.20
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の仕掛長さ当たり (kg-Co2/km)		3.12	2.52	2.65	2.74	2.49
上水量 (m ³ /年)		576.0	516.0	647.0	532.8	733.5
5S改善活動 (点/年以上)		50.4	51.0	58.2	60.0	61.7
ロス率の低減 (%)		6.15	6.47	6.08	6.12	6.35
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済
事務用品・消耗品のグリーン購入 アイテム比率 (%)		54.7	53.6	55.1	58.0	53.9
燃送り品の段ボール梱包削減 段ボール比率 (%)		59.1	52.4	63.1	52.0	79.0
環境保全活動への参加		お魚ふやし隊参加等	31名	34名	前年比10%up	28名

【補足説明】

1. 第 4 次中期環境目標（2016 年度－2018 年度）に使用する原単位は、製品（織物）長さ（km）としています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2014 年度関西電力実排出係数 0.475kg-Co2/km を使用しています。
3. 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は平成 30 年 7 月 6 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
4. 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
5. 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

V. 2018年度 環境活動の具体的な取り組みと評価

取り組み	結 果
1. 電気量の削減・・・製品（反物）長さ対比 （1）製造部全体の稼働率 UP （2）織機、送風機等のVベルトの切替え （3）コンプレッサーの適正運用 （4）冷暖房のメンテナンス強化 （5）夏場の工場の遮断・断熱工事を実施	【評価結果 ×】 目標値：140.70kg・CO₂/km 以下 実績値：186.2kg・CO₂/km 達成率：75.9% 今期は目標に対して大きく未達成となりました。大きな要因は、期中に製品構成が劇的に変わりました。新規分野での売上高が増加し、比例して電気量も増加しました。既原単位で織物長さでは評価が難しくなりました。また、新規設備での電気使用と生産とのバランスも課題となりました。
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品（反物）長さ対比 （1）リユース、リサイクルへの分別を徹底する （2）プラダン敷板の活用、廃段ボール、仮包装用テープ、ppバンドの削減	【評価結果 ○】 目標値：2.74 kg-Co2/km 以下 実績値：2.49 kg-Co2/km 達成率：111.4% 「ゴミ袋使用削減の見える化」などの取り組みが奏功し、昨年度に続き大幅に目標を達成できた。
3. 上水量の削減 （1）使用実績を掲示 （2）節水啓蒙シートを掲示	【評価結果 ×】 目標値：532.8m³/年 以下 実績値：733.5m³/年 達成率：72.5% 今期は、水道管の凍結による破裂で大きく目標を下回った。原因は一過性であり活動は問題ない。今後は、冬期の水道管メータの確認等により、早期の異常に気づくようにしていきたい。
4. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト （1）4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進（毎月 of 全社会議で成果発表）。 （2）改善提案提出1件以上／4ヶ月／人の励行	【評価結果 ○】 目標値：60.0点以上 実績値：61.7点 達成率：102.8% 昨年度から活動の見直しを行い、本年度は、「動線のリスクアセス改善活動」を実施したことが奏功した。今期は、課別活動、個人提案、新人改善と3本柱が上手く回り、目標を達成することが出来た。
5. ロス率の低減・・・仕掛総計（生産量）対比 （1）ビーム巻反数の改善 （2）捨て耳長さの削減（製品を特定する）	【評価結果 △】 目標値：6.12%以下 実績値：6.35% 達成率：96.4% 今期は、製織工程の織機配台変更により、各課の生産品目構成が変更し、また、新規で製織する製品が多く、安全を考慮した長め傾向の設計になり、ロスが多くなってしまった。

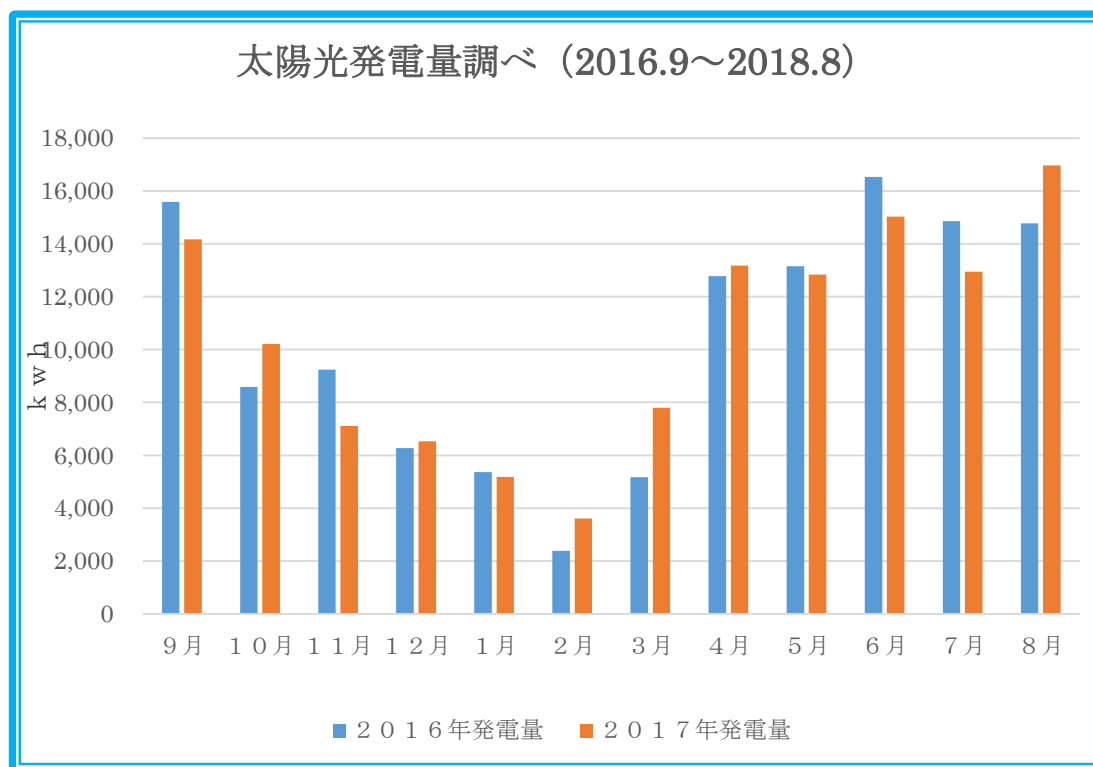
取り組み	結 果
6. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	設定なし
7. 事務用品および消耗品のグリーン購入 アイテム数向上 (1) 既存品のグリーン購入化出来るものを 検討 (2) グリーン購入品の調査	【評価結果 ×】 目標値 : 58.0%以上 実績値 : 53.9% 達成率 : 92.9% 通期で目標は達成できなかったものの、グリーン購入アイテム数を増やしているなど、活動を理解して進めているので問題はない。
8. 燃り送り製品の段ボール梱包の削減… 生産量対比 (段ボール使用比率) (1) 梱包用箱をプラダン箱の使用の推進 (回転効率化) (2) 既存使用ユーザー以外との使用交渉	【評価結果 ×】 目標値 : 52.00%以下 実績値 : 79.0% 達成率 : ー% 燃り送り品の他社からの生産移管を受けたことにより、出荷量が計画基準年度 (2014 年度) 対比 152%と大幅に増加した。その大半が顧客仕様で段ボール箱であるために、段ボールの使用率が増加した。このために、目標との乖離が大きくなった。ユーザーからの指定であり止むを得ない。
9. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	【評価結果 ×】 目標値 : 38 人以上参加 実績値 : 28 人参加 達成率 : 74.0% 高島経済会の清掃活動や琵琶湖清掃活動を中心に参加した。例年参加していた「お魚ふやし隊」が雨天中止となり、メインの行事が無くなり残念だった。

※評価結果 ○ : 目標達成 △ : 目標達成率 95%以上 × : 目標達成率 95

今期の取組みトピックス

◆工場屋根太陽光発電設備実績

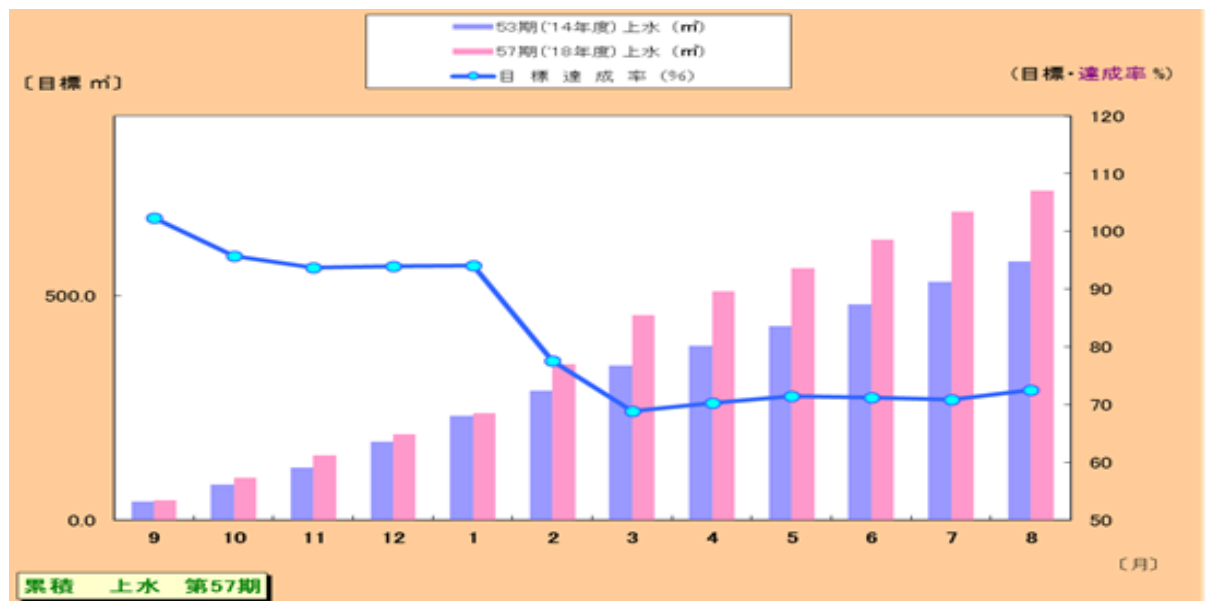
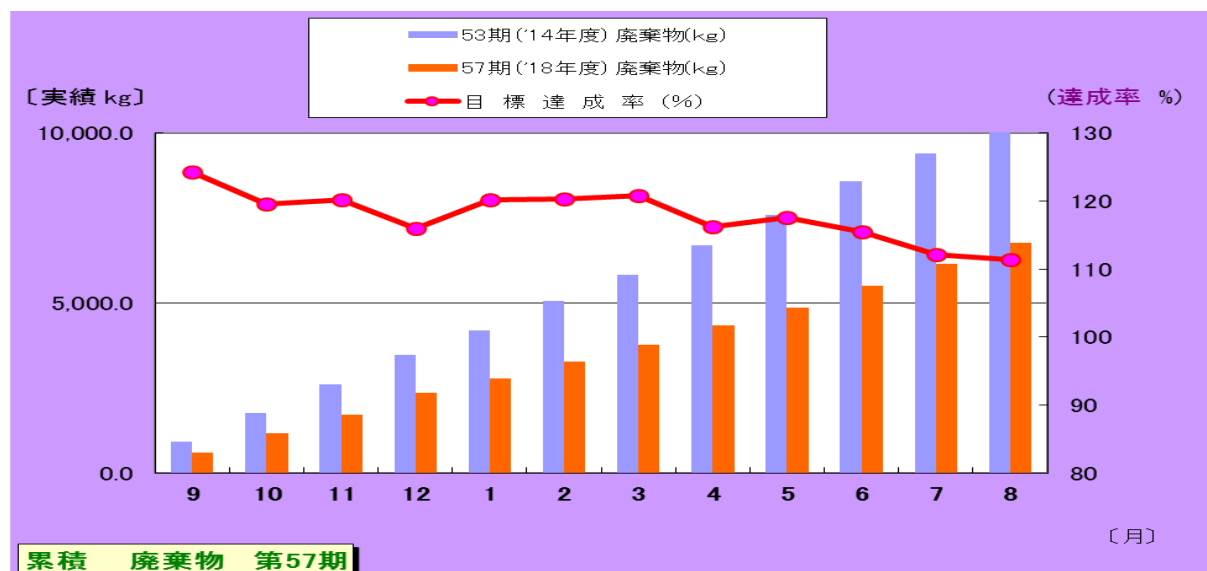
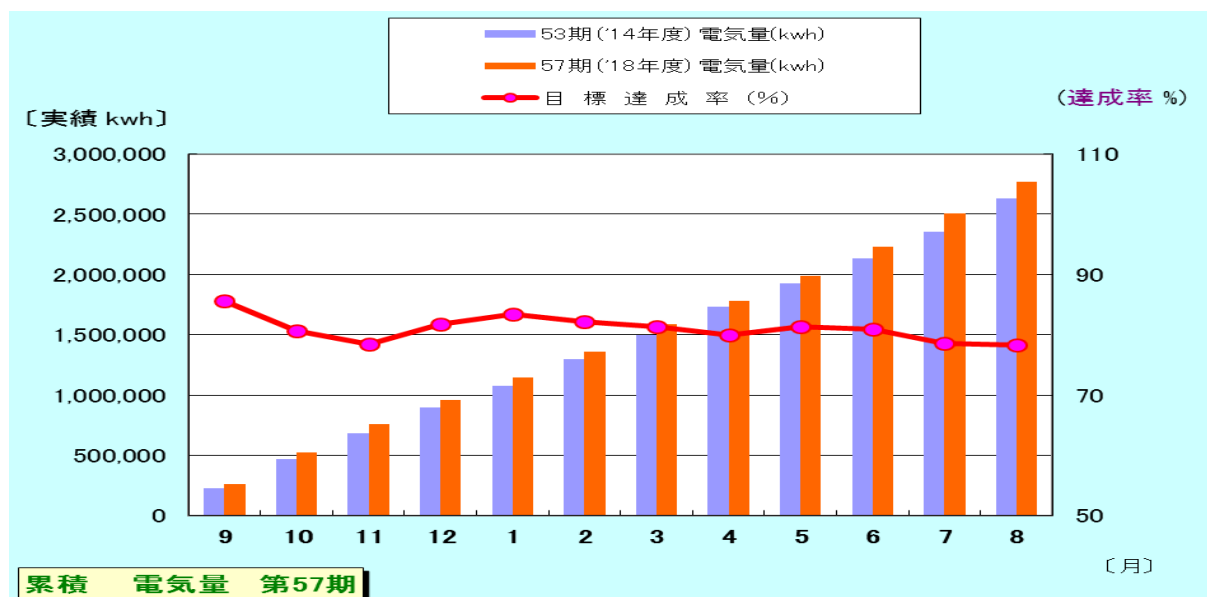
環境配慮型工場として、工場の屋根を利用し 100kwh 容量の太陽光発電設備を 2 年前に設置しました。今期の発電量の実績は、以下の通りとなりました。



今期は目標発電量以上の発電量の実績（30%増）となりました。今後も、発電設備のメンテナンスを十分に行い、発電効率を保っていきます。

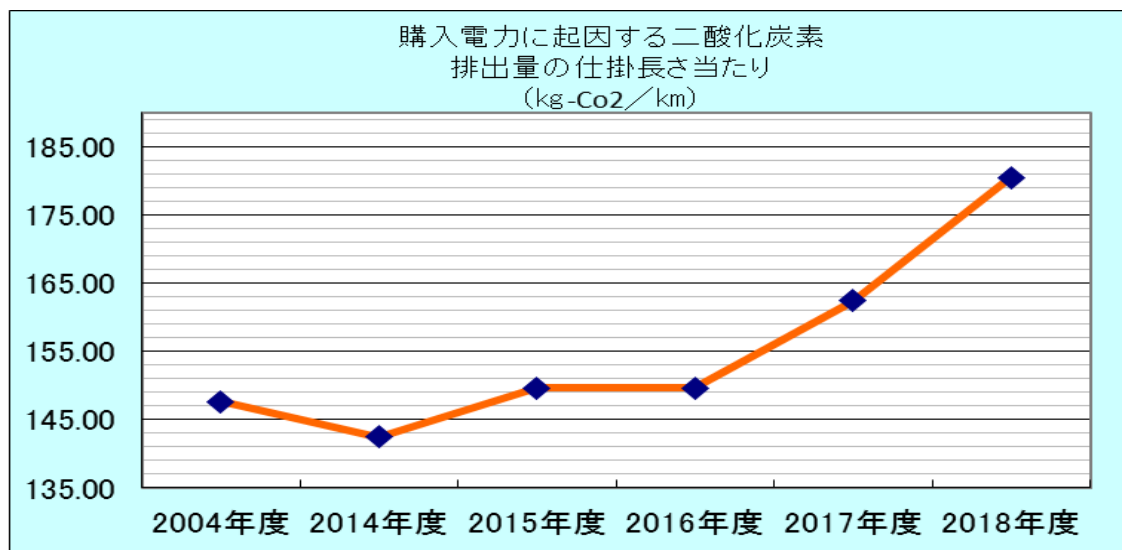


◆今期 実績グラフ

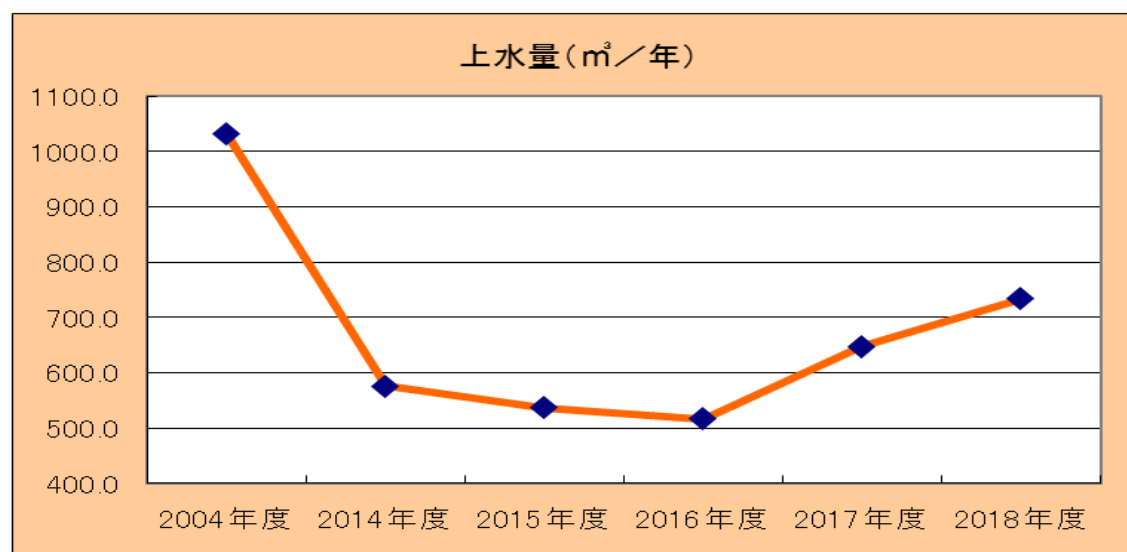
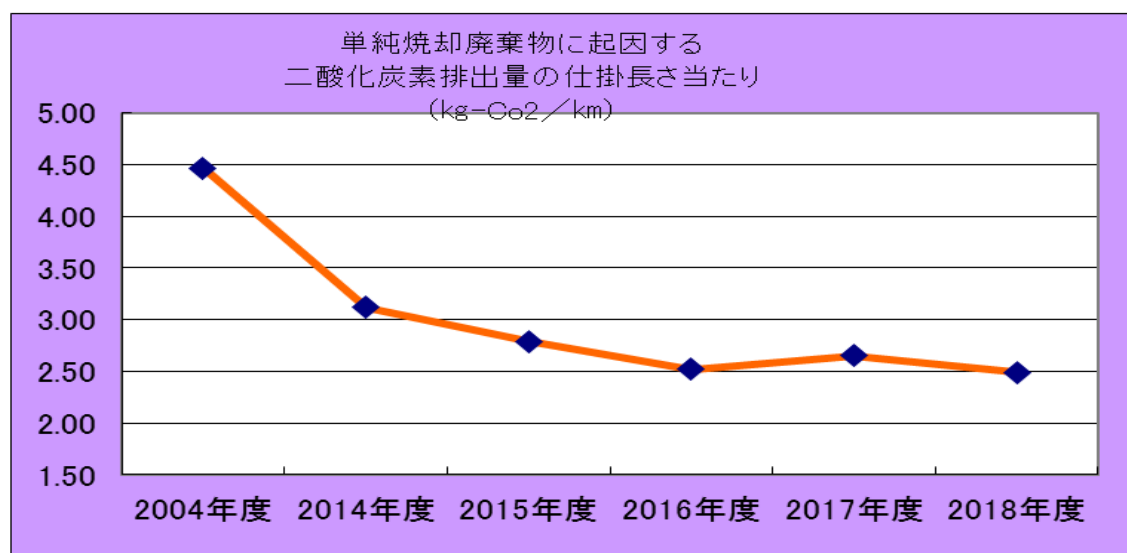


◆EA21 活動数値推移表（抜粋）

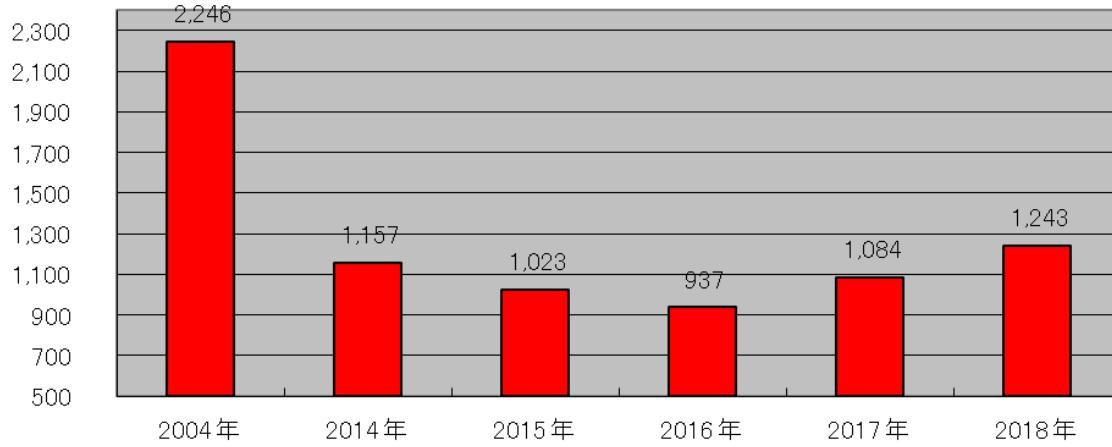
※2004 年度は、当社の EA21 活動をスタートさせた 2007 年度の基準年度にあたります。



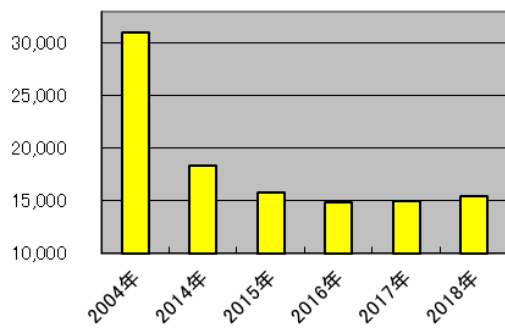
※排出係数は、2014年度関西電力実排出係数0.475kg-Co2/kmを使用しています。



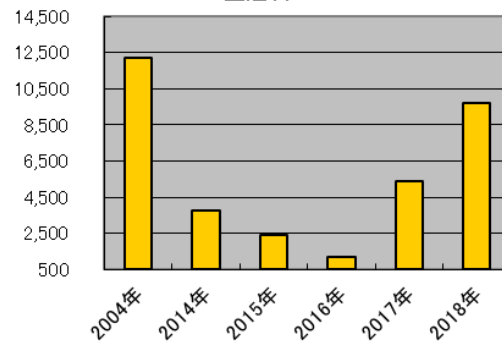
化石燃料 総エネルギー 投入量(KMJ)



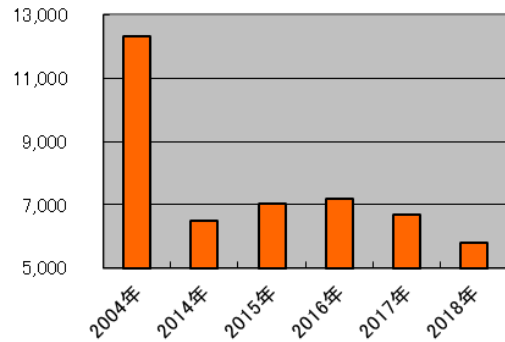
灯油(ℓ)



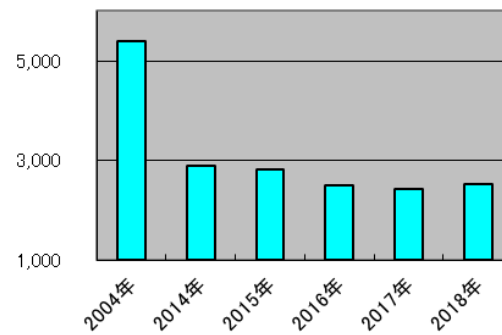
A重油(ℓ)



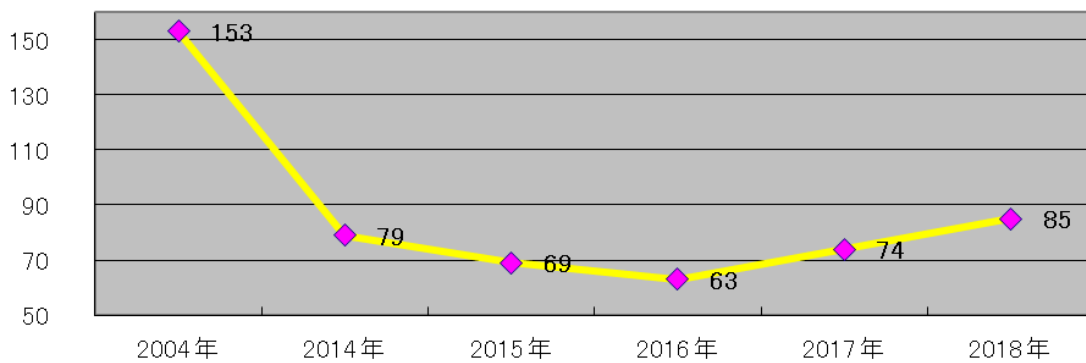
ガソリン(ℓ)



軽油(ℓ)



化石燃料によるCo2総排出量(千kg-Co2)



VI. 第5期中期環境経営目標計画

2018 年 9 月 1 日より、第 5 次中期環境目標計画（2019 年度（‘18/9～’ 21/8）がスタートします。環境経営方針も新たに策定し、環境経営活動に取り組んでまいります。

環 境 経 営 方 針

当社の産業資材用織物及び燃糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - （1）脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - （2）循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - （3）省資源のため生産ロスを低減します。
 - （4）水資源の節約として 上水を削減します。
 - （5）作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
 - （6）化学物質の適切管理に努めます。
 - （7）環境に配慮した織物、燃糸コードの積極的な提案（設計・開発）を進めます。
 - （8）事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

制 定 日：2018 年 9 月 1 日

紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山 川 藤 治

2017 年度（‘16/9～’ 17/8）の実績を基準として目標を設定しています。また、目標数値および実績は下記のとおりです。今期より、一部項目において原単位の見直しを行っています。

項目	年度	2017年度(基準年度) (‘13/9～’ 14/8)	2019年度 (‘19/9～’ 20/8)	2020年度 (‘20/9～’ 21/8)	2021年度 (‘21/9～’ 22/8)
		実績	目標	目標	目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり (kg-Co2/千円)		1.302	1.295	1.289	1.282
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり (kg-Co2/円)		20.48	18.43	18.23	18.02
上水量 (m ³ /年)		647.0	570.0	527.0	524.0
5S改善活動 (点/年以上)		61.7	63.0	64.0	65.0
ロス率の低減 (%)		6.08	6.07	6.06	6.05
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測		12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済
環境に配慮した織物・燃糸コードの提案 (件/年以上)		2019年度実績 4件	5件以上	5件以上	5件以上
環境保全活動への参加		2019年度実績 28名	前年比10%up	前年比10%up	前年比10%up

【補足説明】

1. 第5次中期環境目標（2019 年度－2021 年度）に使用する原単位は、出荷加工料（円）を分母としてとしています。
2. 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2017 年度関西電力実排出係数 0.493kg-Co2kwh を使用しています。
3. 産業資材用織物、燃糸コードにおいて、環境に配慮した設計・開発の提案を積極的に行い、園提案件数を目標とします。

VII. 2019年度 環境経営活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
1. 電気量の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) 製造部全体の稼働率 UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え継続 (3) コンプレッサーの適性運用 (4) 冷暖房の適性運用及びメンテナンス強化 (5) 生産設備の見直し	目標値 : 1.289kg・CO ₂ /千円 以下
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・製品(反物)長さ対比 (1) 3Rの徹底(教育訓練) (2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底 (3) ゴミ袋使用量削減の見える化	目標値 : 6.88 kg-Co2/円 以下
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する	目標値 : 570.0m ³ /年 以下
4. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	設定なし
5. 環境配慮した織物・燃糸コードの提案 (1) 当社自らが設計・開発する提案 (2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案	目標値 : 5 件以上
6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	目標値 : 6.07%以下
7. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5S チェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進 (毎月の全社会議で成果発表) (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 (3) 5S レクチャー強化	目標値 : 63.0 点以上
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	地域の環境活動参加者 : 前年対比 10%以上増加 31 名以上

Ⅷ. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃 に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 環境関連法規について

当社の環境関連法規の重大違反はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

Ⅸ. 2018年度代表者による見直し

第4次中期環境計画の最終年度の今期は、主要取り組み項目の電力量削減では大きく未達成となりました。しかし、内容を分析してみると昨年より生産項目の大きな変化により、今中期環境計画で使用していた原単位では活動の評価の反映が難しいものとなりました。なお、活動自体は前進しており問題はありませんでした。

その他の目標についても同様に、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前進しています。

上記のようなことから、今期は従来から使用していた原単位および新たな原単位での評価を実施しました。その結果、新たな原単位で第5次中期環境計画を立案する事が望ましいという結論に達しました。次期より原単位を変更し、社員の頑張りを一層現せるようにして参ります。

本中期環境計画中の3年間では、新規工場をはじめ最新の機械の導入を進めましたので、これらをフルに活用し最適な「ものづくり」を行い、環境負荷の少ない製品をご提供できるように努めてまいります。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

環境アルバム

